

講座の概要 (韓国で日本語作成)

講座開設の意義と目的

今日世界はグローバル化、情報化と多元化の時代に轉換されている。これらの時代的状況は、私たちにとって「歴史の重量」を脱ぎ捨て和解と新しい相互依存の時代を切り開いていくことを要請している。

これらの時点でアジア地域の正體性を見つけて進んで新世紀の思想體系を確立するために地域主義、人種主義、國家中心主義等境界を明確にする障壁はもちろん社會的、文化的、經濟的障壁を越えてお互いの共通的理解と關心を持つ人文學的思考を探究していくことが必要である。

本<アジア共同体論>講座は未來アジア主役である大學生にアジア共同體形成の必要性、可能性と戦略、ビジョンを國內外各分野の専門家を招請して

Team-teaching することにより 向後アジア共同體建設の基盤造成とこれ實踐していく未來人才を育成するために意義と目的がある。特に政治、經濟、社會、文化等多様な分野の専門家たち學制間接近の講義を通じて、アジア共同體建設のために、アジア文化の統合的視覚を持つようにする

現在までの研究状況の概要

光州女子大學校林基興教授は現在社團法人大韓經營學會副會長、大學院長、平生教育院長、TI (Trade Incubator) 事業團總括教授、經營情報研究所長に在職しながら經濟、社會發展の核心單位となる地域社會の革新體系 (RIS : Regional Innovation Regions) 構築と人的資源の開発に主力している。

これ認定受け TI 事業團 (2002.3)、河南工團 e-business 人力養成事業團に選定されて産、館、學との NETWORK を構築して實習教育を擴大する等人才の現場接木性を増大させて来ている。湖南地域最高の國際地域經濟中樞教育機關に成長するのに大きく寄與している。

2016年1學期定規科目に開設されている<アジア共同体>講座は交通や通信の發達に世界が一つの町へと變化していく。

Human Technology 時代に要求される「疏通」と「共存」という大きな Tema 下アジア圈歴史、哲學、文化の理解と知識を提供する。このようにして統合と融合の時代に適合した専門性と自然と人間の共存を理解する人文學的思考を備えた 21 世紀型人才に養成し、これを足場に西歐近代文明の限界と弊害の批判的思考とアジア文明が持つ「差異」の發見を通じてアジアの正體性糾明の必要性を理解して連帶と協力を中心としたアジア共同體形成の土臺構築を目標にする。

本年度の講座実施計画及び目標(講義内容、日程、担当者):シラバスを別紙添付
 光州女子大 2016 年 1 学期定規科目に開設されている「アジア共同体論」講座の実施計画と目標は以下の通りである。

第 1 部では、Globalization とアジア共同体を理解するために、アジア共同体構想と背景、アジアの近代化過程と国民国家建設過程を講義し、なぜアジア共同体が必要なのかを討論する。

第 2 部 では、東アジアの FTA 展望と経済的効果、アジア経済共同体と経済協力の立場から、東アジア**経済**共同体のマーケティングの現状と課題、東北アジア 3 國（韓国、日本、中国）の**国際**マーケティングの比較と**経済**協力を討論する。特に日本名城大**学**産業社会学科李秀澈教授を招請して東北アジア 3 國（韓国、日本、中国）の環境現況と問題解決のための協力方案について討論する。

第 3 部では、アジアの文化交流と人的交流分野で東アジア諸**国**における企業競争力と最高**経営者**、イスラム文化と**藝術**、黄海文化と湖南知性、東アジア地域間の**接触**と文化交流（17 世紀初頭～19 世紀中葉）現代舞踊の理解等を見て、アジアの文化交流協力方案について討論する。

第 4 部では、アジア共同体形成の方向と課題では、東アジアのビッグデータ現況と課題、東アジア **国家**経済共同体の過去と現在、**未来**を討論する。

これらの講義と討論を通じてアジア共同体の形成に必要な普遍的価値を大學生に認識させ、アジアの平和と繁榮に必要な共通認識を持つようになるが大きく寄與したい。アジア共同体論講座はグローバル時代と多文化時代を迎えた時代的流れの中で使命感を持って切實に必要な課題であり

実施全体計画（年次計画及び目標を含む）
 光州女子大の「アジア共同体論」講座は定規科目で 2016 年 1 学期に開設され、向後展開されているアジア時代と多文化時代を迎え時期適切な講座である。本「アジア共同体論」講座は毎週木曜日 10 時から 13 時 50 分まで教養科目に開設されて team teaching 方式の講義で進行され、取得學點は 3 単位である。

本「アジア共同体論」講座は地域社会に貢献するために一般人にも公開され、光州女子大の學生だけでなく、ワンアジアクラブ (ONECLUB) 光州の會員と一般民間人も受講することができる。向後本講座を中心に參與た教授と一般人と大學生に構成された「光州女子大 2016 年アジア共同体研究センター」を設立して、セミナーや講演等を多様に進行して研究結果を蓄積していく計画である ASIA。

講座において使用される言語 韓国語、日本語、英語	特記事項（複数言語を使用するなど） なし
-----------------------------	-------------------------

講座実施期間 2016 年 3 月 1 日～2016 年 6 月 18 日
--

※記入欄が不足の場合は、別紙を添付してください。

別紙(D)

講座 2016年度 1学期 アジア共同体論

第1部 Globalization とアジア共同體の理解

- 第1講 (3/3) - アジアの中の韓国
- アジア共同体論の構想と背景、講義の紹介 - 林基興 教授
- 第2講 (3/10) - アジアの近代と国民国家建設 - 申一燮 教授
- 第3講 (3/17) - アジア共同体、何故必要か - 鄭俊坤 博士

第2部 アジア經濟共同体と經濟協力

- 第4講 (3/24) - 東アジアのFTA展望と經濟的効果 - 全義天 教授
- 第5講 (3/31) - 東北アジア 3國(韓国, 日本, 中國)의 環境 現況과 問題解決을 위한 協力方案 - 李秀澈 教授
- 第6講 (4/7) - 東アジア共同体構想과 韓.中.日 經濟協力 - 韓相玉 教授
- 第7講 (4/14) - 東北アジア 3國 (韓国、日本、中國) の国際マーケティングの比較と經濟協力 - 金貴坤 教授

第3部 アジアの文化交流と人的交流

- 第8講 (4/21) - 東アジア諸国における企業競争力と最高経営者 - 張大成 教授(中間考査)
- 第9講 (4/28) - イスラム 文化와 藝術 - 黃炳河 教授
- 第10講 (5/12) - 黃海文化와 湖南知性 - 宋日基 教授
- 第11講 (5/12) - アジアのサービス産業の競争力確保-申東高
- 第12講 (5/19) - 東アジア地域間の接触と文化交流 (17世紀初頭~19世紀中葉) - 鄭成一 教授
- 第13講 (5/19) - 東アジア 現代舞踊의 理解 - 鄭眞英 教授

第4部 アジア共同体 形成の方向と課題

- 第14講 (5/26) - 東 アジアのビッグデータ現況과 課題 - 盧圭成 教授
- 第15講 (6/2) - 東 アジア国家經濟共同体の過去と現在、未来 - 金成厚 教授
- 第16講 (6/9) - 佐藤洋治理事長はどんな方か - 林基興 教授(期末考査)
遠からず世界は一つになる - 佐藤洋治理事長

